



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				訪問先施設の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらもない	いい	工夫した点、改善点	はい	どちらもない	いい	わかりない	保護者の方のご意見	はい	どちらもない	いい		わかりない	訪問先施設の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	9	16	0	0	・送迎時、連絡ノートなどで保護者と日頃からコミュニケーションをとり、情報をキャッチしている。	5	1	0	0							・送迎時、連絡ノートなどで保護者と情報共有し、今後の課題などもあふりだす。	
	10	12	3	1	・説明会等で行っている。	3	1	0	2							・令和7年からはペアレントトレーニングも再開予定。	
保護者への説明責任・連携支援	1	16	0	0	・契約時はもちろん、入所式などの機会を利用し、当事業所の方針や支援内容などの説明を行っている。	5	1	0	0	・いつも丁寧な説明をしてくれます。						・説明の機会を増やしながら、また不明点など気軽に問い合わせできるような雰囲気作りに努めたい。	
	2	16	0	0	・時期ごとの支援計画へのサインをいたした際には支援内容を細かく説明し、希望も反映するようにしている。	4	1	0	1							・保護者にもわかりやすい丁寧な説明をしていく。	
	3	16	0	0	・熱心でない保護者へのアプローチの強化の必要性を感じる。	6	0	0	0							・日頃送迎で会えない保護者にも連絡ノートなどで発信。困り感も伝えてもらえやすい環境にする。	
	4	11	2	3	・保護者会の開催も徐々に増やしている。												・ペアレントトレーニングとかで保護者同士の懸け橋役をつとめる。
	5	16	0	0	・苦情事例がない。	5	1	0	0								・苦情窓口を設けているので、要望があった際には迅速な対応を心掛ける。
	6	16	0	0	・ぼっぼ便りを中心に、活動内容などを発信していく。	6	0	0	0								・保護者向けお便りの内容を更に充実させる。
	7	16	0	0	・個人情報の取り扱いには十分注意している。	5	0	0	1								・職員会等で、個人情報についての危機管理意識を徹底している。
	8	15	1	0	・相手の立場に立ち、寄り添い、意思の疎通を図っている。	5	1	0	0								・自分本位にならないように、保護者の声を聴けるような事業所を目指す。
訪問先施設への説明等	1	16	0	0	・誠意をもってお答えしている。											・丁寧な迅速な対応でよかった。・困り感への明確な答えやアドバイスがなかった。	
	2	14	2	0	・訪問後、訪問先施設と情報共有を行っている。											・訪問後、成果がでるよう継続した情報共有を行っている。	
	3	15	1	0	・訪問後の家族への報告を丁寧に行う。											・訪問後の家族への報告はもちろん、継続した見守り支援を行い適宜報告をする。	
	4	16	0	0	・個人情報の取り扱いには十分注意している。											・職員会等で、個人情報についての危機管理意識を徹底している。	
非常時等の対応	1	16	0	0	・職員会で各マニュアル内容を周知し、再確認している。	6	0	0	0							・各マニュアル等の内容について、保護者に周知する機会を設ける。	
	2	16	0	0	・毎年、規定に則った訓練は実施できている。	6	0	0	0							・いろいろなパターンを想定して訓練を行う。	
	3																
	4	16	0	0	・ヒヤリハットの報告の機会を増やすとよい。												・ヒヤリハット事案から事故防止に向けて職員間で共有する。
	5	16	0	0	・定期的な虐待防止研修を行っている。												・定期的な虐待防止研修を定期的に行っていく。
	6	15	1	0	・現在該当者はいないが、今後該当ケースが出た場合は、左記内容を徹底したい。												・身体拘束事例が出た場合は、マニュアルに沿って慎重に対処していく。